

がん検診で早期発見・早期治療

行って検診 ほっと安心!

がんは、どんなに気をつけていても、完全に防ぐことはできませんが、「がん検診」で早期に見つけることで、治すことができます。早期発見で守られるあなたの未来があります。定期的にかん検診を受けましょう。

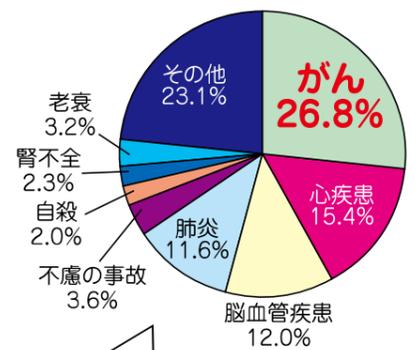
がん検診はどこで受けられる?

- お住まいの市町村
- 医療機関、検診機関
- 職場

*市町村によって、実施時期や実施内容が異なりますので、検診担当窓口にお問い合わせください。検診費用もそれぞれ異なりますが、数百円～数千円で受けることができます。
*職場によっては、がん検診費用や人間ドック費用への助成を行っているところもあります。



本県の死因別割合(平成22年)



3.5人に1人が、がんで亡くなっています。

問い合わせ先 県庁健康増進課 ☎099(286)2721

低線量CTによる肺がん検診費用の一部助成を行っています!

県と契約をした検診機関で、自己負担3,150円で受けることができます。

対象: 県内に居住し、受診日時点で満50歳以上の方

詳しくは健康増進課がん対策・歯科保健係 ☎099(286)2721へお問い合わせください。

がん検診の無料クーポン券が届いていませんか?

多くの市町村では、一定年齢の方に、乳がん・子宮がん・大腸がん検診の無料クーポン券・検診手帳を配布しています。クーポン券がお手元に届いた方は、この機会を利用して検診を受けましょう。

メディポリス指宿で粒子線がん治療が行われています!

財団法人メディポリス医学研究財団が、鹿児島県医師会、鹿児島大学、指宿市および鹿児島県との産学官連携により整備を進めてきた九州初の「がん粒子線治療研究センター」が完成し、既に100例を超える治療が行われています。

先進医療である粒子線治療はさまざまなメリットがあり、大きな期待が寄せられています。

ただし、粒子線治療が適応しない場合もあるため、治療を検討されている方や患者の主治医の方などは、同センターに事前に問い合わせる必要があります。

問い合わせ先 **がん粒子線治療研究センター** (患者さん相談窓口) ☎0993(24)3456

| 治療症例実績(H23.1.11～9.20に治療開始した数) | | | |
|-------------------------------|----|-----|-----|
| 前立腺 | 61 | 頭頸部 | 8 |
| 膵臓 | 2 | 肝臓 | 14 |
| 腎臓 | 2 | その他 | 9 |
| | | 計 | 113 |

粒子線治療のメリット

- ・痛みを伴わず、副作用が少ない
- ・仕事を続けながら通院での治療が可能
- ・高齢者など手術できない方も可能
- ・日常生活への速やかな復帰が可能

利子補給事業の開始

■粒子線治療にかかる費用は、公的医療保険の対象外のため、全額自己負担であり高額(約288万円)です。

■県では、当センターで治療を受ける患者さんまたはそのご家族などが、銀行などから治療費の借入を行った場合の利子の一部を助成する制度を創設しました。

【対象者】 患者本人(鹿児島県民の方)または家族など
【対象借入金】 借入金のうち粒子線治療相当分
限度額 2,883千円

【利子補給率】 6%以内 【利子補給期間】 5年以内
【その他】 所得制限などあり

銀行などへの借入申し込み後、県に申請し、審査を受けることとなります。

問い合わせ先 県庁地域医療整備課 ☎099(286)2693

海とふれあえる緑地空間 マリンポートかごしま

平成19年9月28日のオープン後、「マリンポートかごしま」には260万を超える方々が来園し、昨年は49隻もの観光船が入港しています。にぎわいの「みなと鹿児島」の創造を目指して、来年度から緑地の整備に着手する予定です。



緑地整備計画図



どんな緑地を整備するの?

- 県民や観光客が錦江湾や桜島の雄大な景観を満喫し、憩い、海とふれあえる緑地空間を整備します。
- 緑地空間では芝生広場ゾーンなど6つのゾーンを設定し、各ゾーンごとに施設や樹木類、花壇などの整備をします。
- 離島などの救急搬送用ヘリポートを整備します。

「マリンポートかごしま」には、雄大な景観を満喫し、憩い、海とふれあえる緑地空間を整備するとともに、その広大な緑地空間を生かし、災害対応空間として活用します。



災害対応空間としての活用例

- 大規模災害が発生した場合に、施設の安全性を確認した後、災害事象に応じて一時的避難および、数週間の応急生活の支援スペースとして活用します。
- 復旧・復興段階までの消防や救助、救援、復旧など諸活動の支援拠点として活用します。
- 船舶やヘリコプターによる緊急物資の輸送や集積などに活用します。

災害対応時における土地利用イメージ



問い合わせ先 県庁港湾空港課 ☎099(286)3645